

ナイロビ給水事業



本事業にて建設された送水パイプライン

[借款概要]

承諾額/実行額	5,342百万円 / 4,963百万円
借款契約調印	1989年3月
借款契約条件	金利2.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1994年8月

[事業概要]

ケニアの首都ナイロビにおいて、新たな水源による上水道施設を建設し、急増する水需要に対処するもの。事業はダム、取水施設、浄水場、送水パイプライン、排水施設、下水処理場等からなり、世銀、アフリカ開発銀行及び欧州投資銀行との協調融資により実施され、円借款は送水パイプラインを対象とした。

[評価結果]

本事業は1992年末に完成し、ナイロビ市の上水供給能力は事業実施前（1985年）の194千 m^3 /日から455千 m^3 /日に増強され、この間の急速な人口増加（1985年1.1百万人から2000年2.1百万人）等に伴う水需要の増加に対処することが可能となった。

住民へのインタビュー調査によれば、水質・量の不安定さといった問題もあるものの、概ね半数以上が現在の水供給に満足し、水に起因する病気の減少等の効果も指摘されている。

一方、料金徴収の問題や漏水等により無収率は約50%を越え、実施機関の経営を圧迫させる要因となっているため、ナイロビ市では、世銀の支援を得て、民間参入等を含めた経営改善策を検討中である。なお、これまで送水パイプラインに大きな問題は生じていないものの、今後、他の施設と合わせ適切な補修・維持管理を実施して行くことが必要である。